

(1)		『指点字ガイドブック』 認定NPO法人東京盲ろう者友の会編著 (2012年、読書工房)	指から指に伝えることば「指点字」を体系的に学ぶことのできるガイドブック。 ※20冊以上注文で割引あり	1,510円 _____冊
(2)		『盲ろう者の移動介助』 前田晃秀著 (2008年、東京盲ろう者友の会)	盲ろう者がどのような方法で通訳・介助者から移動介助を受けているのか、たくさん例を紹介。 ※10冊以上注文で割引あり	540円 _____冊
(3)		『てのひらから広がる未来』 荒美有紀著 (2015年、朝日新聞出版)	当会理事の荒美有紀さんが初めて出版した本。難病のため大学生で突然盲ろうになった著者が、どうやって一歩を踏み出したのか。	1,296円 _____冊
(4)		『ことばは光』 福島智著 (2016年、道友社)	福島さんが触れ合ってきた、様々な方とのエピソードやニューヨークでの研究滞在中の出来事、お母様との対談など。	1,404円 _____冊
(5)		『光と音のない世界で 盲ろうの東大教授 福島智物語』 池田まき子著 (2014年、岩崎書店)	東京大学教授で全盲ろうの福島智さん。その半生がまとめられた本。小学校中学年～中学生向けの児童書。	1,510円 _____冊
(6)		DVD「渚のふたり」 イ・スンジョン監督 (2014年)	韓国の盲ろう青年とその妻の2年間を追ったドキュメンタリー映画のDVD。ドキュメンタリー映画祭で最優秀賞受賞 バリアフリー字幕と音声ガイド付き。	3,500円 _____冊
(7)		『盲ろう者として生きて』 福島智著 (2011年、明石書店)	福島智さんの半生を詳細に記した自叙伝的論文。指点字との出会いなど、500ページを超える著作。	3,130円 _____冊
(8)		『さとしわかるか』 福島令子著 (2009年、朝日新聞出版)	指点字を発見した著者、福島智さんの母が綴る子育て記。タイトルの「さとしわかるか」とは著者が福島智さんに対して初めて打った指点字でのことば。	1,725円 _____冊
(9)		『ゆびさきの宇宙』 生井久美子著 (2009年、岩波書店)	新聞記者である著者が、福島智さんやその関係者への膨大なインタビューをもとに、その人間的魅力に迫る。極限状況で、人はどう生きるのか。	1,940円 _____冊
(10)		『めだかの学校の仲間たち』 山岸康子著 (2012年、思想の科学社)	見えない、聞こえない人生を、打たれ強く生きるスピリットを綴ったエッセイ。盲ろう者ならではの事件や事故、ガンまで。当会前理事長。2015年に逝去。	1,940円 _____冊
(11)		『盲ろう者と ノーマライゼーション』 福島智著 (1997年、明石書店)	福島智さんの論文や原稿を収録。盲ろう者をめぐる様々な問題を事例を含めて紹介。	3,020円 _____冊
(12)		『ゆびで聴く』 小島純郎・塩谷治著 (1988年、松籟社)	福島智さんの高校、大学時代の支援の会の記録集。本人や周囲の試行錯誤の様子や悩みなどがまとめられている。	2,570円 _____冊

住所 〒

-

FAX

氏名

合計 \_\_\_\_\_冊 \_\_\_\_\_円

\*郵送(ゆうメール)または、宅配便等にてお届けします。

\*ゆうちょ銀行の振替用紙を同封いたしますので、到着後2週間以内に郵便局にてお支払下さい。

恐れ入りますが、振込手数料はご負担ください。

お申込内容をご確認の上、下の番号へFAXにてご送付下さい。

**FAX・03-3864-7004**